

# SUPERBIKE EXPRESS--4

EXtra, EXpert and EXtreme ROUND

THE HEROIC RIVALS  
at their several strongholds  
Who will win? It is me who gets the honor. 2020



2020 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP ROUND4  
SUPERBIKE Race in MOTEGI

JSB1000  
JAPANESE SUPERBIKE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 冷たい雨となったレース1 野左根 VS 中須賀 ヤマハファクトリー同士のトップ争いは、 赤旗によって終止符が打たれる

10月中旬を迎えたが第4戦ツインリンクもてぎのレースウィークは、例年以上に気温が低いコンディションとなっていた。事前テストがなかったこともあり、木曜から特別スポーツ走行が設けられ、通常のレースウィークよりも1日多いスケジュールとなっていた。木曜、金曜とドライコンディションだったが、土曜は、天気予報通り朝から冷たい雨に見舞われた。

公式予選では、ここまで負け無しの4連勝を記録している野左根航汰が最終アタックで、ただ一人1分58秒台に入れたトップにつけると、セカンドラップタイムでもトップとなり3戦連続でダブルポールポジションを獲得した。ヤマハファクトリーに食い込む2番手につけたのは、清成龍一。3番手に今シーズン、まだチェッカーを受けていない中須賀克行がつけ、4番手に加賀山就臣、5番手に前田恵助、6番手に水野涼と続いた。

雨の降り続く中、ウェットコンディションでレース1がスタート。ポールポジションの野左根が好スタートを見せ、清成、中須賀と続くが、中須賀が2コーナーで清成の前に出て行き2番手に浮上。水野、岩田悟、秋吉耕佑、濱原颯道、加賀山と続くが、5コーナーで水野と秋吉が接触。両者とも転倒を喫してしまい、水野のマシンが炎上してしまう。このアクシデントで赤

旗が提示され、レースは中断。周回数は2周減算の21周で再スタートが切られることになる。

2度目のスターティンググリッドに水野と秋吉も着くことができていたが、秋吉はウォーミングアップ走行でマシントラブルでストップ。水野もレース途中でビットに尻リタイヤとなっていた。

そんな2人を尻目にレースは、野左根がリード。これを中須賀がビタリとマークし、ヤマハファクトリーの2台が3番手以下を引き離しトップ争いを繰り広げて行く。セカンドグループは、好スタートを見せた加賀山が3番手につけ、岩田、清成、前田恵助、濱原、亀井と続いていた。3周目には、岩田が加賀山を1コーナーでかわし3番手に浮上。清成も3コーナーで加賀山をかわし岩田の背後につけるとV字コーナーで岩田をパスして3番手に上がると、そのまま単独走行となっていく。

トップ争いは、野左根がペースを上げて、それに呼応するように中須賀もペースアップし逃さない。雨足は、レース終盤に向けて強くなってきていた。

後方では、11周目の5コーナーで岩田をインからかわした加賀山が4番手に浮上。ここからペースアップした加賀山は、マイナートラブルでペースの上から清成にみるみるうち追いついて行く。そして、その

テールを捕らえると15周目のヘアピンで清成をパスし3番手に浮上。

トップ争いの野左根と中須賀は、接近戦となり、レース終盤に最後のバトルが勃発するかと思われた。しかし、16周目の2コーナーで7番手を走っていた亀井雄大がハイドロブレインングで転倒。コース上にマシンが残ってしまったため、この日2度目の赤旗が提示され、15周終了時点でレースは成立となった。この結果、野左根が連勝記録を5に伸ばし、2位となった中須賀は、またもチェッカーフラッグを見ることができずにレースを終えている。3位には、加賀山が入り、久々の表彰台。4位に清成、5位に岩田、6位に濱原、7位に亀井、8位に渡辺一馬、9位に前田、10位に柳川明、11位に児玉勇太、12位に今野由寛、13位に関口太郎、14位に中冨伸一、15位に樋口耕太と続いた。

レース2はドライコンディションとなる予報となっているが、野左根と中須賀のヤマハファクトリーがレースをリードしそう。これに清成、水野、岩田、渡辺、加賀山、濱原、亀井、秋吉などが、表彰台の一角を狙う。水野、秋吉、亀井など、レース1で転倒を喫して影響がどれだけあるかが上位進出のカギになりそうだ。23周と長丁場のレースは15時スタート!!

**JSB 1000**  
All Japan Road Race Championship



レース1ポールポジション: 1'58.674  
レース2ポールポジション: 1'59.235  
**#3 野左根 航汰**  
**YAMAHA FACTORY RACING TEAM**

『チェッカーまで中須賀選手とのバトルになると思っていた。実際、序盤から、すぐ後ろにいました、必死に逃げようとペースを上げて、離すことはできませんでした。終盤、雨足も強くなり、亀井選手が転倒した2コーナー立ち上がりや最終コーナーなど水たまりも多くなっていましたし、タイヤもタレて来ていました。赤旗になる直前辺りは、音で、中須賀選手が近づいているのが分かっていたので、どこで仕掛けてくるかを予想していました。結果的に赤旗で逃げ切りましたが、レース2はトップでチェッカーを受けたいですね』

**JSB1000 決勝 [Race1] 正式結果表**

●予選・決勝[Race1](15周)/10月17日(土):天候:路面/雨/ウエット

Pos No	Rider	Team
1	3 野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
2	1 中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
3	71 加賀山 就臣	Team KAGAYAMA
4	17 清成 龍一	Keihin Honda Dream SI Racing
5	36 岩田 悟	Team ATJ
6	72 渡原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ
7	25 亀井 雄大	Honda Suzuki Racing Team
8	33 渡辺 一馬	Keihin Honda Dream SI Racing
9	75 前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM
10	87 柳川 明	will-raise racingRS-ITOH
11	28 児玉 勇太	Team Kodama
12	21 今野 由寛	Moto Map SUPPLY
13	44 関口 太郎	SANMEI Team TARO PLUSONE
14	19 中富 伸一	HITMAN RC甲子園 ヤマハ
15	92 樋口 耕太	H.L.O RACING

以上 規定周回数出走:

以下 フィニッシュライン不通過

634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda
090	秋吉 耕佑	au*cosuke racing
13	津田 一磨	Baby Face Powered by YOSHIMURA

※参加台数 21 台 出走台数 18 台

※BEST TIME / #3 野左根 航汰 YAMAHA FACTORY RACING TEAM 1'59.059 11/15 145.18km/h

※規定周回数 11



**JP 250**

Presented by  
**DUNLOP**

**笠井悠太 (INT) 3連勝達成!**  
**田中敬秀 (NAT) 2勝目を挙げる**

第4戦もてぎの決勝レースは、予選2番手、クラストップの田中敬秀がホールショット、ポールポジションの上原大輝、中村龍之介、吉澤隆、笠井悠太らが続く。上原は田中からトップを奪うと、ハイペースで差を広げていく。一方、2番手集団から抜け出た中沢寿寛が好ペースで差を縮めてきたトップの上原が7周目に転倒。トップに立った中沢も翌周転倒し、これでトップになった笠井がそのまま優勝。ナショナルの田中敬秀もクラス優勝。



**決勝正式結果 (10周 / 上位10位)**

●10月17日(土) 予選・決勝 天候 / 雨 路面 / ウエット 出走27台

Pos	No	Cs.	Rider	Team	RaceTime
1	1	1	笠井 悠太	TEAM TEC2 & YSS	24'37.908
2	37	1	中村 龍之介	ENDLESS TEAM SHANTI	24'39.942
3	4	1	吉澤 隆	CLUB KENJIN&ペンタグラム	24'41.870
4	26	N 1	田中 敬秀	YUEエムズホームTC&WAKOS-NTR	24'46.163
5	27	1	4 石井 千優	千葉北ボケバイクス Team N-PLAN	24'55.833
6	31	N 2	宮澤 和典	i-FACTORY&Wfz-Kworks+G3	24'57.495
7	103	N 3	富田 一輝	ATJ Racing & NMC	24'58.211
8	48	N 4	三上 真矢	WIN-RF&ABE&KADAN	25'01.538
9	19	N 5	神山 保男	G3 RacingProject	25'16.732
10	32	N 6	石塚 桂三	Team SANMEI	25'37.501

**DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER**

**ST 1000**  
All Japan Road Race Championship  
**QUALIFYING PRACTICE**  
REPORT & INTERVIEW

**高橋裕紀が3戦連続ポールポジション獲得!**  
「常に全力全開!これが強さの秘密です!」



ポールポジション: 2'02.337  
**#23 高橋 裕紀**  
**日本郵便 HondaDream TP**

『オートポリスと同じく、前週のスポーツ走行にチームが連れてきてくれたので、ドライとウエットの両方乗れたことがポールポジションにつながったと思います。予選では、あまりフィーリングはよくなかったので、最後にもう一度ピットに入ろうかと思いましたが、そのまま走り続けて正解でした。ドライでは、かなりセットも進んできていますが、予選のウエットは気温なのか雨量なのか、少しよくないところもあったので、決勝はどんな条件になっても万全の体制にするため、予選のデータも検討して、決勝朝のウォームアップ走行も使って、しっかり進めたいと思っています。よく言われますが、余裕はありません。常に全力全開!これが強さの秘密です!!』

ST1000クラスの公式予選は、高橋裕紀がセッション開始から2番手以降に大きな差をつける走りでのセッションを常にトップで走行。序盤は2分04秒から03秒461までタイムアップしてトップをキープ。2番手は名越哲平で04秒884、3番手に星野知也の代替ライダーとして出場した渥美心が05秒162、続けて藤田拓哉が05秒171という具合。

セッションが進むにつれてタイムも上がり、渥美は

04秒184まで上げて名越を逆転して2番手、新庄雅浩、榎戸育寛、清末尚樹らも05秒台をマークして名を連ねる。名越も04秒137を出し、再び渥美を逆転、2番手を回復した。最終的に高橋は02秒337までタイムを削り、開幕から3戦連続のポールポジションを決めた。2番手に名越、3番手が渥美、4番手には藤田で、5番手には最終周に05秒385をマークした榎戸が05秒736の新庄を逆転、ここまでがセカンドロウ。

**ST 600**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW



## 阿部恵斗がうれしい初ポールポジション獲得!! 「前には誰もいないので、勢いで優勝を狙います!」



阿部恵斗

30分1セッションで行われたST600クラス公式予選は、雨も小康状態となるが路面はウェットコンディションのままとなった。まずは、阿部恵斗、伊達悠太、南本宗一郎、井手翔太らが上位に着ける。阿部は、その後もタイムを削り、2分04秒418でトップをキープ、岡本裕生、埜口遥希、井手、佐野勝人、國峰啄磨と05秒台が続く中、阿部は03秒580でタイムを伸ばすが、埜口が03秒396でトップを奪う。しかし阿部は02秒832でトップを奪い返すなど、タイヤ制限のないコ

ンディションで接戦が続いた。

終盤、井手が03秒923をマークした後、岡本も03秒575を出して3番手、4番手。その後小山知良、荒川晃大、伊達、家根谷大晟も04秒台で続く。そしてチェッカーフラッグが振られるタイミングで長尾健吾が03秒639で一気にポジションアップ、4番手に食い込んだ。阿部は嬉しい全日本初ポールポジション。2番手に埜口、岡本とフロントロウ、長尾、井手、04秒427の小山の順でセカンドロウを形成した。



ポールポジション: 2'02.833  
#39 阿部 恵斗  
Webike チームノリッくヤマハ

『実は少し動揺してます。雨は得意だったんですけど、まさかポールポジションがとれるとは思ってなかったの…。レースウィークに入る前、ここでテストしたんですが、雨でした。その時の感触がすごくよくて、雨なら上位にイけるかなと思ったんですが、雨に味方された予選だったと思います。日曜日はまたコンディションが変わるみたいで、正直言えばこのコースはあまり得意でもないんですが、ポールポジションで前には誰もいないので、勢いに乗って晴れでも雨でも優勝を狙って頑張ります』

**J-GP3**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 小室旭、2戦連続ポールポジション!! 「自分とチームと今までやってきたことを信じ、思い切り走るだけ」



小室旭

金曜夜半から降り出した雨は降り続き、全日本最初に設定された30分間のJ-GP3クラス公式予選はウェットコンディション。鈴木大空翔、村瀬健琉らが上位に着けていたが、小室旭が2分15秒台をマークして一気にトップに。その後も走行を続けて14秒台へとタイムを刻んでゆく。

セッション終盤、小室が13秒709までタイムアップしてくると、木内尚汰が14秒183で一気に2番手に浮

上、村瀬も14秒957でそれに続く。残り2分を切る、最終アタックで続々とタイムアップするライダーたち。小室が12秒331でポールポジションを獲得。2番手には最後に13秒214をマークした村瀬が浮上。3番手には木内が着けた。4番手の徳留真紀も14秒345、山田尚輝も14秒679、古里太陽が14秒736とここまでが14秒台の最終アタックでタイムを上げたライダーが続いた。



ポールポジション: 2'12.331  
#1 小室 旭  
Sunny moto Planning AKR

『予選について特に作戦はありませんでした。このパッケージで、雨のツインリンクもてぎというのが初めてでした。事前にテストをしましたが、その時はドライだったので、今回は開幕戦雨のSUGOのデータを参考に、スタッフとあれこれ確認して、きつこうだろうという予測でもてぎにコースインしました。雨のコンディションは分らないし、この予測が大きいくずれていなければ、できるだけコースの中いようと思ってました。この雨の中で周回毎にタイムを上げられたというのは、よかったです。決勝は、これまでのいろいろなデータをチームと検討して、残された時間でもっと良くなる方法を準備したいと思います。自分とチームと今までやってきたことを信じて、思い切り走るだけです』

# MFJ Superbike Round 4 SUPERBIKE RACE in MOTEGI 17 - 18 October 2020 公式予選結果



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走21台  
●決勝[Race2]スタート進行/14:45(23周)

## JSB1000[Race2] 公式予選 セカンドラップタイム 正式結果表

Pos	No.	Name	Team	Machine	2nd Time
1	3	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'59.235
2	17	清成 龍一	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'59.738
3	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	2'00.019
4	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'00.167
5	72	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RR-R	2'00.906
6	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	2'01.072
7	33	渡辺 一馬	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	2'01.077
8	634	水野 涼	MuSASHI RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR-R	2'01.619
9	36	岩田 悟	Team ATJ	CBR1000RR-R	2'01.991
10	090	秋吉 耕佑	au-kosuke racing	CBR1000RR-R	2'02.239
11	25	亀井 雄大	Honda Dream Racing Team	CBR1000RR-R	2'02.306
12	28	児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	2'02.808
13	21	今野 由寛	Moto Map SUPPLY	GSX-R1000R	2'04.360
14	87	柳川 明	will-raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	2'04.699
15	13	津田 一磨	Baby Face Powered by YOSHIMURA	GSX-R1000R	2'06.188
16	44	関口 太郎	SANMEI Team TARO PLUSONE	S1000RR	2'06.899
17	19	中富 伸一	HITMAN RC甲子園 ヤマハ	YZF-R1	2'07.280
18	92	樋口 耕太	H.L.O RACING	GSX-R1000	2'08.088
19	998	尾崎 和久	ADVANCE MC & FOC CLAYMORE EDGE	GSX-R1000R	2'10.345
20	99	眞鍋 将弘	ADVANCE MC & FOC CLAYMORE EDGE	GSX-R1000R	2'11.137
78	高橋 勇輝	HondaブルーヘルメットMSC	CBR1000RR	計測できず	

※参加台数 21台 出走台数 21台  
※予選通過基準タイム (107%) 2'07.555

## Supported by BRIDGESTONE



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走37台  
●決勝スタート進行/12:10(16周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	39	阿部 恵斗	Webike チームノリックヤマハ	YZF-R6	2'02.833
2	71	埜口 遥希	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	2'03.157
3	41	岡本 裕生	51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	2'03.576
4	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	2'03.639
5	11	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	CBR600RR	2'03.684
6	104	国峰 啓暉	TOHO Racing	CBR600RR	2'03.855
7	36	井手 翔太	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'03.922
8	54	荒川 晃大	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	2'04.024
9	1	小山 知良	日本郵便 HondaDream TP	CBR600RR	2'04.049
10	38	伊藤 元治	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	2'04.451
11	2	南本 宗一郎	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'04.476
12	98	佐野 勝人	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	2'04.744
13	53	家根谷 大晟	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	2'04.787
14	33	中山 耀介	伊藤レーシング&TEAM SHOTA	YZF-R6	2'04.928
15	18	横山 尚太	ガレージL8 Racing TEAM・YAMAHA	YZF-R6	2'04.962
16	31	鈴木 光来	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	2'05.115
17	75	綿貫 舞空	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	2'05.389
18	90	齋藤 魁	テルル・MotoUPレーシング	CBR600RR	2'05.460
19	97	佐野 優人	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	2'06.103
20	46	芳賀 涼大	ニトロレーシング	YZF-R6	2'06.233
21	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	2'06.510
22	32	名越 公助	YZF-R6	2'06.862	
23	60	長嶋 修一	大道建設モトアルファ	YZF-R6	2'06.955
24	49	松岡 玲	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	2'07.225
25	341	和田 留佳	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	2'07.301
26	51	関野 海斗	51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	2'07.468
27	84	繁永 虎之介	TEC2 & 無法松 & DS.Company	YZF-R6	2'07.756
28	20	船田 俊希	BLUE MAX +加藤建設	YZF-R6	2'08.766
29	17	田所 隼	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	2'08.786
30	40	豊島 智博	RS-ITOH	ZX-6R	2'09.053
31	76	豊田 浩史	D;REX	YZF-R6	2'09.137
32	22	長尾 健史	富永総業 TEAMけんけん with BEE	YZF-R6	2'09.172
33	45	芳賀 瑛大	ニトロレーシング	YZF-R6	2'09.643
34	77	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス 保険職人ライダーズパーティー	ZX-6R	2'09.688
35	44	平野 ルナ	TransMap Racing with ACECAFE	YZF-R6	2'09.692
36	37	櫻井 賢一	MOTO BUM	CBR600RR	2'10.370
37	62	小林 寛明	ATJ Racing	CBR600RR	2'11.663

※参加台数 37台 出走台数 37台  
※予選通過基準タイム (108%) 2'13.043



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走31台  
●決勝スタート進行/10:05(16周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	32	小室 旭	Sunny moto Planning AKR	RC250R	2'12.331
2	3	村瀬 健琉	Team MTK	NSF250R	2'13.214
3	45	木内 尚汰	S-Speed	NSF250R	2'14.183
4	36	徳留 真紀	マルマエMTR	NSF250R	2'14.345
5	35	古里 太陽	Taiyo with BATTLE FACTORY	NSF250R	2'14.736
6	95	千田 俊輝	SDG Mistresa JrTeam	NSF250R	2'15.075
7	96	中島 元気	Honda浜松エスカルゴRT	NSF250R	2'15.116
8	2	鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	2'15.149
9	71	成田 彬人	Team P.mu 7C MIKUNI	NSF250R	2'15.377
10	28	野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	2'15.502
11	11	山本 恭裕	TEAMLIFE・ドリーム北九州	NSF250R	2'15.846
12	43	彌樂 郡	Team MARUMAE・Y's	NSF250R	2'16.104
13	42	濱田 寛太	ライダーズサロン横浜	NSF250R	2'16.267
14	33	仲村 瑛冬	犬の乳酸菌.jp/プリミティブRT	NSF250R	2'16.450
15	59	小田喜 阿門		NSF250R	2'16.551
16	51	若松 伶	team hiro'ck&HARC	NSF250R	2'16.749
17	56	高橋 直輝	ライダーズサロン横浜	NSF250R	2'16.940
18	53	小合 真士	SDG Mistresa Jr.Team	NSF250R	2'17.322
19	41	宇井 陽一	41Planning.Team One for All	TR-004	2'17.536
20	70	山田 尚輝	SDG Mistresa Jr.Team	NSF250R	2'17.924
21	12	高杉 奈緒子	Team NAOKO KTM	RC250R	2'18.123
22	72	藤田 智弥	Team P.mu 7C MIKUNI	NSF250R	2'18.353
23	55	内海 孝太郎	ライダーズサロン横浜	NSF250R	2'18.547
24	8	岡崎 静夏	RT YOLO SARD&ばわあくらふと	NSF250R	2'18.750
25	58	S 上江洲 葵	ライダーズサロン横浜☆ペンスケ	NSF250R	2'19.621
26	44	小沢 良美	Obrigada!RTwithコダGO!	NSF250R	2'20.312
27	54	S 田中 風如	WJ-FACTORY	NSF250R	2'20.609
28	52	S 宮崎 隼	ライダーズサロン横浜	NSF250R	2'22.239
29	83	幡多 智子	ビヨビヨRacing	NSF250R	2'22.303
30	19	川瀬 啓一郎	club NEXT & KOHSAKA	TSR3	2'23.052

※参加台数 31台 出走台数 31台  
※予選通過基準タイム (108%) 2'23.902

## DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走28台  
●決勝スタート進行/13:30(14周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	23	高橋 裕紀	日本郵便HondaDream TP	CBR1000RR-R	2'02.337
2	634	名越 哲平	MuSASHI RT HARC-PRO	CBR1000RR-R	2'04.137
3	95	瀧美 心	TONE RT SYNCEDGE4413 BMW	S1000RR	2'04.184
4	33	藤田 拓哉	speedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	2'05.171
5	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO	CBR1000RR-R	2'05.385
6	7	新庄 雅浩	RS-ITOH&AUTOBOY First★Star	ZX-10R	2'05.736
7	87	清末 尚樹	TEAM WITH 87 KYUSUY	ZX-10RR	2'05.962
8	13	柴田 義将	OGURA CLUTCH with RIDE IN	YZF-R1	2'06.081
9	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-10RR	2'06.398
10	17	伊本 輝介	Keihin Honda Dream SIR	CBR1000RR-R	2'06.905
11	14	伊藤 和輝	will raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	2'07.183
12	67	豊島 浩	speedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	2'07.265
13	104	國川 浩道	TOHO Racing	CBR1000RR-R	2'07.786
14	26	谷本 音虹郎	speedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	2'08.026
15	52	山口 辰也	Team T2y with NOBLESSE FAMILY	CBR1000RR-R	2'09.278
16	85	津田 拓也	WestPower・S-SPORTS・SUZUKI	GSX-R1000R	2'09.864
17	51	仲村 優佑	AKENO SPEED YAMAHA	YZF-R1	2'10.757
18	78	森 健祐	Honda ブルーヘルメットMSC	CBR1000RR-R	2'10.966
19	18	上林 隆洸	浜松チームタイタン	CBR1000R	2'11.204
20	6	小山 葵	AKENO SPEED	YZF-R1	2'11.530
21	77	佐藤 宏司	石井りんご園 モトアルファ	CBR1000RR SP2	2'11.918
22	88	吉広 光	CLUBNEXT&MOTOBUM	CBR1000RR-R	2'12.625
23	91	中山 智博	Team91孫悟空&G.H.H	ZX-10R	2'12.644
24	50	大須賀 俊晴	DOG HOUSE+速心+STファクトリー	GSX-R1000R	2'12.689
25	15	D.Zechariah	Odakaihatsu aprilia + TOHO	RSV4	2'12.988
26	42	武田 教馬	浜松チームタイタン	GSX-R1000R	2'13.164

※参加台数 28台 出走台数 28台  
※予選通過基準タイム (108%) 2'13.436

## INFORMATION



全日本ロードレース選手権全戦・全クラス(JSB1000/ST1000/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250)の予選・決勝をライブ配信! 迫力ある映像をお届けします。※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります。

## インターネットライブ & 動画配信も充実!!



You Tube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!



国内最高峰のJSB1000クラスに加え、新設されたST1000クラスを中心に日本のトップライダー達の熱いバトルの模様などをお届けします。また、新車インプレッション等の最新二輪情報満載のバイク番組です。

## 毎週最終土曜21:30~22:00

詳しくはBS12(トゥエルビ)  
<https://www.twelvv.co.jp/>